

おばあちゃんの家の柿

おばあちゃんの家いえにある柿の木。

お母さんが大好きな柿の実。

少しやわらかくなつたくらい
の柿の実は、甘くて、私も大好き。

家の縁えんに座つて、柿をむく。

おばあちゃんも、お母さんじょうずも
上手にナイフで柿をむく。

くるくる柿をまわすたびに

柿の皮が下へ下へ長くなつていく。

私もできるよになるかなあ。

おばあちゃんの家にある柿の木。

私も大好きな柿の実。

お母さんは私に

「いっぱい食べよ。」つてむいてくれる。

「お母さんも食べ。」つていうと、

「あんたがいっぱい食べてからな。」
と言う。

おばあちゃんが、柿をむきながら
「ほれ、あんたも食べ。」

と言つて、むいた柿を皿にのせた。

「うん。」と言つて

お母さんは、柿をほおばつた。

「おいしいなあ。」

「うん、おいしい。」

おばあちゃんの家にある柿の木。

おばあちゃんも大好きな柿の実。

縁に三人ならんで、柿をほおぼる。

おばあちゃんと、お母さんと、私。

三人つながつた、つるし柿がきみたい。